

施策：	12	農林業の振興	財務コード	01050104-03-345
基本事業：	04	地産地消の推進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	農産物直販所における販売高 学校給食へ納入された食材の額		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和51年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫農協が組織する各部会等			筑紫農協が組織する各部会等の活動を支援するため補助金を交付する。 < 補助金交付の流れ > 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告 < 補助金の内訳 > プロックリー部会（400千円）、アスパラガス部会（400千円）、 ふれあい市出荷グループ（129千円）、キクイモ研究会（151千円） < 部会の活動内容 > 各種会議、研修会、視察、検査、圃場巡回等						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
筑紫農協の各部会等の活動を通じ、生産者の意欲向上と安全で安心な農産物の供給が図られている。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
会員数（各部会合計）		人	73	73	81	81			81
5. コスト									
事業費		計	千円	1,080	1,080	1,080	1,080		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	782	802	838				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,862	1,882	1,918	1,080			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		< 現状 > 各生産組織の活性化と多様な担い手の育成を図り、安定的供給体制を整備した。会員数は変わらない。 < 原因 > 部会員の高齢化や後継者不足等がある。 < 課題 > 新規部会員加入に向け、部会活動の活性化と併せた勧誘策を検討する必要がある。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	会員数が少なく活動が低迷している部会は、補助対象外となっている。 生産者が増えていないため、会員数も増えない。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
各生産組織の活性化と活動実態に応じた補助金額の見直しについて、筑紫農協と協議検討中。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
各生産組織の活性化と多様な担い手育成を図り、安定供給体制を整備することを目的に、筑紫農協の各部会の活動を支援する本事業を開始した。									